IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

岩木川ダム統管だより

022号
2019年
2月28日

IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN



▲神事式の１つ“火渡り”の際の一コマです。見物客の視線が一点に集中します！

平成３１年２月１７日（日）、西目屋村名坪平地区の県道岩崎西目屋弘前線沿いの乳穂ヶ滝において、滝の結氷により農作物の豊凶を占う『乳穂ヶ滝氷祭』が開催されました。当日は、天候にも恵まれ臨時に設置された駐車場は満杯となり、乳穂ヶ滝への関心の高さを窺い知らされました。

昨年は、見事に滝が結氷しましたが、今年は氷結が進む２月の時期に度々暖気が訪れ、例年より滝からの流水が多いことから結氷には至らなかったようですが、それでも見物客の多さには、驚かされます。来シーズンは是非、結氷した姿を見せて欲しいものです。



ライトアップされた『乳穂ヶ滝』



津軽ダムキャラクター
ペッカー君

「乳穂ヶ滝」は、高さ３３ｍある白絹のような滝で、冬に稲を乳穂（にお）積みにして乾燥させるような形で氷結することからこの名が付きました。
「乳穂ヶ滝氷祭」は、
毎年2月第3日曜日に開催されます。

津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake

女子〇（マル）“乳穂ヶ滝氷祭ツアー” in 津軽ダム

平成３１年２月１７日（日）、津軽白神ツアー主催での“乳穂ヶ滝氷祭ツアー”を実施しました。総勢２０名の団体さんです。このツアーは、募集人員２０名に対して、７２名の応募があり、倍率3.6倍と厳冬の季節にも関わらず、非常に人気のツアーとなりました。

事務所としては、ダム見学のパートを受け持ちましたが、参加者からは、初めて入るダムの堤体内部に興味津々で「良い体験をさせてもらった」「ダムの中って、意外にあったかいんだね」と感動の声を聞かせていただきました。



▲ツアーに参加した“女子〇”の皆さん



取水塔を１周しながら、結氷が進む“津軽白神湖”を眺めました。



ダム内部の長い監査廊を歩きます。“ダムの中ってこうなってるんだ”



ダムの内部では、ダム湖の濁水対策の説明を、熱心に聞いていました。

土木学会デザイン賞2018 『津軽ダム』が最優秀賞を受賞







平成３０年１１月２０日（火）、“津軽ダム”が『土木学会デザイン賞2018（主催：公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会）』において、最優秀賞を受賞しました。授賞式は、平成３１年１月２６日（土）に、東京都新宿区四谷の土木学会講堂で執り行われました。

津軽ダムは、平成２８年１０月に竣工し、平成２９年４月から本格的に管理に移行しました。洪水被害の軽減、流水の正常な機能維持、かんがい用水の補給、水道・工業用水の供給、発電と６つの目的を持ち、青森県内では最大のダムです。

特に津軽ダムが建設された場所は、“世界自然遺産　白神山地”の玄関口に位置するということで、学識経験者、発注者、受注者、設計者で構成される「津軽ダム景観検討委員会」が幾度となく開催され、そこで議論された意見をダム堤体や付属施設に生かしながら工事を施工するという配慮が成されました。

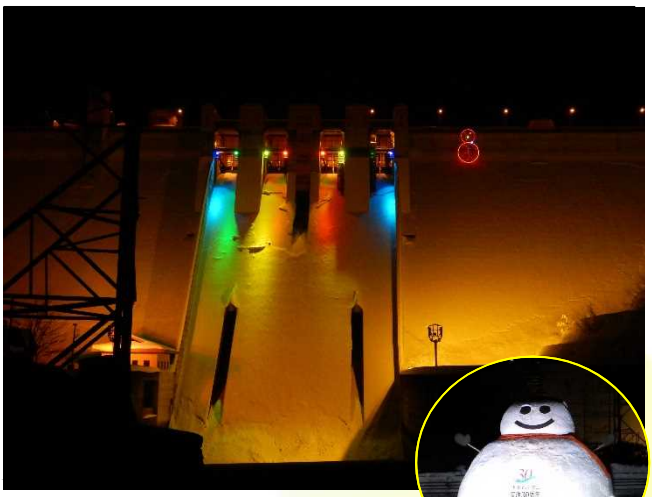
今回の受賞にあたっては、『多様かつ長期に渡るデザイン監理をやりきる環境が設定され、そこでの仕事の質がひときわ高かった。関係者の熱意、訪れた人をもてなすデザイン密度の高さにおいては突出している』という評価をいただきました。

岩木川ダム統合管理事務所としては、今回の受賞を機に、地域活性化のため、立地村である西目屋村はもちろん岩木川流域自治体等との更なる連携を図り“インフラツーリズム”の象徴ともいうべき“ダムツーリズム”の推進に、より一層努めていきたいと思っています。

冬のらいとあっぷ

浅瀬石川ダム、津軽ダムが統合管理となり、2年目の「冬のライトアップ・２０１９」を実施しました。浅瀬石川ダムは、平成３１年２月２日（土）～１１日（月）までの10日間、黒石市「雪の降るさと２０１９」の開催にあわせてレインボーカラー、津軽ダムでは、平成３１年２月２日（土）～１７日（日）までの16日間、西目屋村の「乳穂ヶ滝氷祭」とタイアップし、カラーは時間毎に色が変わる「お楽しみ」として実施しました。

ダム堤体が雪化粧をまとい、それはまるで巨大な白いキャンバスのようでもあり、見事に光を映し出していました。



浅瀬石川ダム

▲「巨大雪だるま」が“想い出の橋”から“浅瀬石川ダム”を見守ります





▲“津軽ダム”では、「ミニかまくら」や「雪燈籠」の灯りで来訪者をお出迎え！



津軽ダム

黒石温泉郷雪まつり “雪の降るさと 2019”

平成31年2月２日（土）～10日（日）の期間、小嵐山黒石温泉郷雪まつり“雪の降るさと2019”が津軽伝承工芸館を会場に開催されました。初日のオープニングナイトイベントでは、黒石市の農音楽家「タクロンソロライブ」、１時間限定で灯された「1,000本ローソク」の幻想的な雪景に、集まった多くの観客が魅了されていました。

黒石市名物のこけしをイメージした大小個性豊かな「雪だるまワールド」、家族で楽しめる「雪のすべり台」や「雪上車乗車体験」なども行われ、厳冬の中、心あたたまる８日間となりました。



《 個性豊かな雪だるまがお出迎え！》



《 子供たちに大人気！雪のすべり台》



《 ワクワク♪雪上車乗車体験》

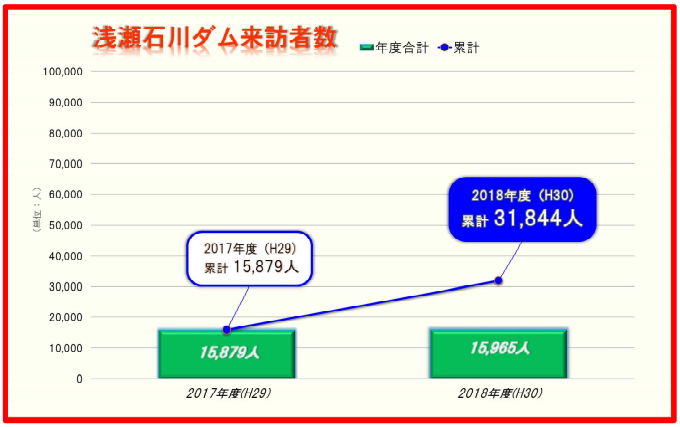
平成30年度 浅瀬石川ダム・津軽ダム来訪者数

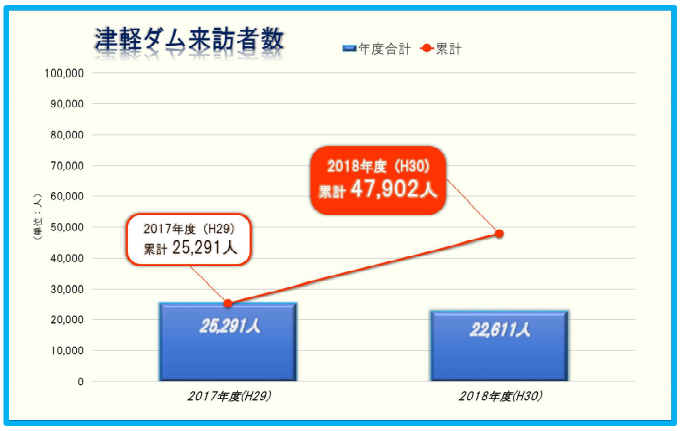
今年度も沢山の皆さんに訪れていただき、ありがとうございました。

H３０年度	浅瀬石川ダム来訪者数	
4月	1,130	人
5月	2,724	人
6月	2,407	人
7月	1,920	人
8月	2,028	人
9月	2,218	人
10月	2,167	人
11月	1,371	人
合計	15,965	人

H３０年度	津軽ダム来訪者数	
4月	1,973	人
5月	2,834	人
6月	2,139	人
7月	2,432	人
8月	4,447	人
9月	3,114	人
10月	3,729	人
11月	1,943	人
合計	22,611	人

※計測器が野外の為、天候により計測不可日もあり。





ダム内部見学受付中！

浅瀬石川ダム・津軽ダムでは、冬もダム内部見学受付中!

降雪により、夏場と一部違うルートで案内します。冬なのに“意外とあったか～い”ダムの中を見学し、体感してみませんか？
詳しくは、岩木川ダム統合管理事務所HPをご確認ください。
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/

編集後記

昨年も感じましたが、ライトアップされた乳穂ヶ滝は、とても神秘的というか幻想的というか言葉では言い表せない光景を演出しています。青森県のパワースポットとして紹介されているのも頷けます。１月下旬から西目屋村ＨＰで実施している『乳穂ヶ滝の定点観測』にリンクを貼り、当事務所ＨＰからも状況を確認できますが、仕事帰りに写真を撮りに行くと、必ずと言って良いほどカメラ愛好家？の方が三脚を立てて、一眼レフで写真を撮っているのを見かけます。実際に見るのと写真とでは、格段に雰囲気が違います。一見の価値ありです。是非、来冬にでも見に来て下さい！
間もなく3月。春はもうすぐそこです！（船水）

編集・発行
国土交通省　東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢138-2
TEL　0172-85-3035
FAX　0172-85-3061
岩木川ダム統合管理事務所
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/